# まちのわだい

広報に掲載した写真をご希望の方、広報誌に関するご意見、ご要望は、総務課総務グループ（広報担当）までご連絡ください。
※写真は電子メールによる提供も可能です。
・電　話　３３－２１１１（内線 34 番）
・メール　kouhou@chippubetsu.jp

## 2/2 豆まきの呼吸！コロナ外！小学校で豆まき実施

小学校で節分の豆まきが行われました。児童たちはホールに吊るされた特大の鬼に向かい、大人気アニメのセリフを用いて「豆まきの呼吸、壱の型！コロナ外！」と元気いっぱいに豆を投げつけ、新型コロナウイルスの退散を願いました。

## 2/3 勇気を出してオニは外！こども園節分おたのしみ会

認定こども園くるみで、節分お楽しみ会が行われ、園児たちは節分のお話しを聞いたり、節分にちなんだゲームを楽しみました。最後には赤鬼、青鬼が登場し、その迫力に泣き出してしまう子も。それでも勇気をもって鬼に豆を投げ退治した後、みんなで恵方巻を食べました。

## 2/15 松永徹さん 北海道指導農業士に認定

町内で農業を営む松永徹さん（中央西町内）が、担い手の育成・確保や地域農業振興の助言などに携わる「北海道指導農業士」に認定され、役場に報告に訪れました。町内では６人目の認定となり、今後も秩父別農業の振興のための活躍が期待されます。

## 2/18 楽しく健康増進を ふれあい・いきいき広場

健康の保持・増進を目的としたふれあい・いきいき広場が老人福祉センターで開催されました。参加者は手遊びや健康体操を行った後、食生活改善推進協議会（岡田好子会長）からお土産として手渡されたヨーグルトや野菜ジュースなどの栄養について、赤松管理栄養士から講話を聞きました。

## 2/24 より一層の交通安全啓発を 町交通安全協会総会開催

町交通安全協会（宇野忠直会長）の総会が役場で開かれました。開会にあたり宇野会長から「交通事故死はもちろんのこと、交通事故発生を防ぐためにより一層の啓発活動を行っていきたい」と挨拶があり、議事では来年度の交通安全啓発等のための事業、予算等が承認されました。

## 2/26 幼児の食生活のポイントを知る 幼児食教室開催

食べムラや味の好き嫌いが出てくる年頃のお子さんを持つ保護者を対象とした幼児食教室が老人福祉センターで開催されました。参加者は幼児食の講話を聞いた後、デモンストレーションで調理した鱈フレークや白和えなどを試食しました。

## 2/26 身近で温かく見守る 認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識を持ってもらうことを目的とした認知症サポーター養成講座が役場で開かれました。参加者は小林明美講師から認知症に関する講話を聞いた後、グループワークを行い、身近な体験談などを話し合いました。終了後にはサポーターの証となるオレンジリングが手渡されました。